

# ガス発生が予想される仮置場のキャッピングシート要求性能

通気・防水シートキャッピング工法研究会

## 現状の状況



上記の状況等を踏まえ

### ①基本特性

熱特性	発生ガスの放出がスムーズで蓄熱が少ないこと
透水特性	雨水を浸透させないこと
強度特性	台風等に耐える強度・固定方法 獣傷、歩行に耐える耐貫通性

### ②耐久性に係る特性

耐久性に係る特性	3年以上の暴露に耐えること
----------	---------------

### ③その他(必要に応じて考慮)

景観対策	自然との調和
保全対策	風によるバタつき等を抑えること
不陸・沈下対策	施工初期形状(上面・法面)を極力維持 (例:コンパネ、現場発泡材、面状排水材等) 上部にテンションをかけない構造 (沈下想定部分にふくらみを持たせる等)

が重要となる

## 【キャッピングシートの自主基準】

### ①基本特性

要求特性	代用特性	自主基準値	単位	試験方法	基準根拠	
熱特性	熱伝導率	?	W/m <sup>2</sup> ・°C	JIS R 2616		
	空気透過度	100 以下	秒	JISL1096 B法(カ-レー形法)		
透水特性	透湿度	2,500 以上	g/m <sup>2</sup> ・24h	JIS Z 0208 (40°C、90%RH)		
	透水係数	1.0 × 10 <sup>-9</sup> 以下	cm/sec	—	透湿度より換算(全都清要領準拠)	
強度特性	引張強さ	本体	335 以上	N/5cm	JIS L 1096	風圧力による検討結果より想定
		接合部				
	伸び率	15 以上	%			
	貫入抵抗	500 以上	N	ASTM D4833	全都清要領 保護マット目安準拠)	

### ②耐久性に係る特性

項目	基本特性	自主基準値	単位	試験方法	基準根拠
紫外線対策 耐候性試験 機による 暴露試験 1,000時間	引張強さ	285 以上	N/5cm	JIS L 1096	1,000時間根拠 耐候性大型土のう設置ガイドライン より一般に耐候性試験機で暴露時間 300時間が屋外の1年に相当する。
	接合部				

### ③その他(必要に応じて考慮)

要求特性	代用特性	自主基準値	単位	試験方法	基準根拠
景観対策	色	白・灰・黒・グリーン	—	—	
透水性	耐水度	1,000 以上	mmH2O	JIS L 1092 A法	

保全対策	必要に応じて土のう等により固定する。	香川県豊島等実績より
------	--------------------	------------